

議第6号議案

学校給食の無償化を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和元年9月13日

提出者

東大和市議会議員 森 田 真 一

〃 尾 崎 利 一

〃 上 林 真佐恵

学校給食の無償化を求める意見書

学校給食は、児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものとして、極めて有効な教育的役割が期待されている。

2016年3月の内閣府経済財政諮問会議において、子育て世帯の支援拡充として給食費の無償化が打ち出された。また、文部科学省は、2017年公立小中学校の給食費無償化に関する全国調査に乗り出し、2018年に「学校給食費の無償化等の実施状況」を公表した。これによると、全国で82の自治体が、教育的効果のほか、子育て支援や子供の貧困対策として学校給食費の無償化をしていることがわかった。

しかし、学校給食費無償化は、自治体財政を圧迫するなどの懸念が生ずる可能性があり、実施に踏み切れない市町村も少なくない。

本市においては、小中学校の学校給食費を完全無償化とすると、各家庭においては小学生においては1人当たり年間約43,450円（注1）、中学生で50,380円の負担軽減となる一方、本市の負担がおよそ3億円になると想定される。

よって東大和市議会は、国に対し、学校給食費の無償化を早期に実現するよう求める。

注1：小学生は学年によって月額が異なるため、中学年の月額3,950円×11ヶ月で計算。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。